

## 普代ダム小水力発電所 運転開始式

(農政部農村整備室)

県が所有する農業水利施設に設置する小水力発電<sup>※1</sup>設備としては県内第1号となる「普代ダム<sup>※2</sup>小水力発電所」が完成し、4月27日(水)から発電を開始します。発電の開始にあたり、発電所の運転開始式が下記のとおり開催されますので、お知らせします。

## 記

- 1 日時 平成28年4月27日(水) 午前11時～
- 2 場所 下閉伊郡普代村字中山 普代ダム堤体下流側 揚水機場敷地内  
(添付の案内図を参照願います)
- 3 主催 普代村(発電事業者)
- 4 参集者 普代村(村・議会)、県北広域振興局、施工業者、地元の関係者等
- 5 開始式の次第  
(1) 主催者あいさつ、(2) 来賓祝辞、(3) 事業経過報告、(4) 運転開始セレモニー、  
(5) 施設見学

## 普代ダム小水力発電所の概要

ダムの河川への放流水を利用して、発電を行うもの。建設した発電設備は、県から普代村に譲渡し、村が発電事業を行う。

小水力発電の導入に向け、県が平成23年度から調査を開始。26年度から発電設備の建設に着手し、27年12月に完成。28年3月までに村への設備譲渡や発電事業開始に係る諸手続きを完了。発電される電力は、全量を東北電力へ販売。その売電収入を、村が負担するダムや農地へ農業用水を送る揚水機の電気代等に充当し、施設の維持管理経費の節減を図る。

- (1) 設置位置：下閉伊郡普代村字中山地内 普代ダム
- (2) 設置主体：岩手県(農林水産省の補助事業を導入)
- (3) 発電事業者：普代村
- (4) 建設費：1億1,470万円(内訳：国庫補助金50%、県費50%)
- (5) 最大水量：毎秒0.154立方メートル、最大落差：24.1メートル
- (6) 最大出力：28.4kW
- (7) 年間発電可能電力量：82<sup>メガ</sup>MWh(一般家庭(4人)に換算して約15戸分の消費電力量に相当)
- (8) 売電単価：再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、開始から20年間は、1kWh当たり34円(税抜き)

※1 小水力発電：概ね10,000kW以下の水力発電を一般的に小水力発電と呼ぶ。

※2 普代ダム：県営農地開発事業普代地区の一環として平成9年に完成した農業用ダム。普代村黒崎、和野山、向野場の農地143haで利用する農業用水を貯水。形式：重力式コンクリートダム、堤高：37.3m、堤頂長：97m、有効貯水量：93万<sup>m</sup>、ダムは県が所有し、普代村へ管理を委託。

担当：農政部農村整備室農村建設課長 千田 拓洋  
電話：0194-53-4988 内線304

# 【運転開始式 会場 案内図】

